

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

## 1 基本情報

公の施設名	LCA国際小学校北の丘センター(相模原市立北市民健康文化センター)
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同企業体 (公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	所在地 緑区下九沢2071-1 ・敷地面積 9076㎡ ・建築面積4,454㎡ ・延床面積9,069㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上3階) 1階 プール、展示コーナー 2階 障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階 浴室 大広間
施設所管課	市民局 市民協働推進課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	285,192	296,247	236,404	82,526	136,805	213,871	
利用料金合計(円)	60,124,304	58,290,926	46,895,672	18,628,395	31,129,797	53,108,095	

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
D	<p>・指標1は、前年度と比較して回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準には届いておらず、目標値を下回っている。令和3年度とは異なり施設休所や利用制限は無かったものの、繁忙期である夏場の7月から8月にかけてコロナ感染者が増加し年間利用者数にも影響したが、利用への心理的抵抗が大きかったことも要因と想定され、必ずしも指定管理者の責めによらないものと考えられる。</p> <p>・指標2についても、前年度と比較して回復傾向にあるものの目標値には到達していない。人気の幼児向け水泳教室の定員増加など、利用者ニーズを反映した施策を実施したものの、繁忙期に実施した自主事業など、感染者数の増加により定員に達しなかったものもあった。2つの指標の平均は目標値の72.4%に留まるため、D評価とする。</p>

### 指標1

指標名(単位)	プールの利用人数(人)
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進が達成されるため、成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	201,000	203,000	205,000	43,662 (207,000)	92,367 (209,000)	211,000	213,000
実績値(人)	220,437	176,450	137,316	49,218	77,293	132,980	
達成度(%)	109.7%	86.9%	67.0%	112.7%	83.7%	63.0%	0.0%

指標 2							
指標名 (単位)	自主事業の参加人数(人)						
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターの諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	19,900	20,100	32,000	6,323 (32,000)	20,800 (32,000)	32,000	32,000
実績値 (人)	51,630	51,596	29,706	3,524	15,372	26,166	
達成度 (%)	259.4%	256.7%	92.8%	55.7%	73.9%	81.8%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【「健康保持・増進」を推進する事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により教室等の参加者数が回復しづらい中、幼稚園・保育園水泳サポート事業や高齢者向けの水中運動教室など、募集定員を上回る参加者がいた事業も一部あった。</li> <li>・子ども向け水泳教室の中級・初級を行う曜日に上級クラスを増設することでスムーズなクラス昇級を図った点や、ニーズの高い幼児向けクラス等の定員を増加し、落選者が出ないよう工夫するなど、参加者の意見を反映し改善を図っているため○評価とする。</li> </ul> <p>【「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写仏教室や着付け教室など、定員を大きく上回る参加者がいる事業もあるなど、ニーズに応えた事業を実施できていると評価できる。</li> <li>・また、ハーバリウム作り教室など新規事業も積極的に実施しており、さらなる新規利用者の開拓に努めているため○評価とする。</li> </ul> <p>【「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で中止していた北の丘フェスタの3年ぶりの開催や、市内の他のプール施設と連携した夏休みスタンプラリー、ハロウィンイベントやクリスマスイベントなど季節に合わせたイベント等の開催により、利用者への還元や施設認知度の向上を通じた施設利用者の増加に積極的に取り組んでいるため○評価とする。</li> <li>・引き続き、施設の利用者確保に向けた取り組みや新規利用者層の開拓など、さらなる施設の活性化に向けた取組について検討してもらいたい。</li> </ul>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
「健康保持・増進」を推進する事業	通年	プール教室や体操教室等の事業 (34事業)	○
「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業	通年	「初心者ウクレレ教室」や「陶芸教室」等の事業 (14事業)	○
「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業	通年	近隣施設と連携したスタンプラリーや展示コーナーを活用した地域サークルの発表・展示等の事業 (12事業)	○

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	・目標値を1.3ポイント上回ったほか、令和3年度と比較しても総合的な満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が0.4ポイント、「満足」と答えた割合も1.1ポイント増加しており、利用者のニーズに沿った運営がされたと評価できる。引き続き、ニーズの把握に努め、調査結果を踏まえて新規事業を展開するなど、今後のより良い施設運営に期待したい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施(682件)(令和4年7月～8月)
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	90.1	89.9	90.3	87.1	90.9	91.3	
達成度（%）	100.1%	99.9%	100.3%	96.8%	101.0%	101.4%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関するアンケートを実施。（文化教室のみ）教室終了時に回収。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	本体事業収支及び全体収支が赤字であり、指定管理者の団体本体の経営状況について若干の懸念があるため、C評価とする。赤字の要因として、コロナ禍の利用者減少による利用料金収入の減少や原油価格・物価高騰等により、光熱水費が大幅に増加している点が挙げられるが、指定管理者の責めによらないものとする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入（a）		225,704	231,896	237,688	
指定管理料		173,686	166,936	166,916	
利用料金収入		18,628	31,130	53,108	
その他の収入		33,390	33,830	17,664	
支出（b）		195,168	231,411	268,667	
人件費		89,021	99,119	110,934	
本社管理経費		5,831	5,677	6,082	
その他の支出		100,315	126,615	151,652	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		30,537	485	-30,979	
自主事業収入（d）		2,379	10,146	18,268	
自主事業支出（e）		2,592	7,937	10,840	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		-212	2,209	7,428	
全体収支 【(c)+(f)】		30,324	2,693	-23,551	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年7月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

令和4年度については、利用制限の解除や緊急事態宣言の影響による休所期間が無かったことで、現指定管理者期間の中で最も利用できる日が多くなった。しかしながら、国等のガイドライン変更に合わせ適切な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら管理運営を行ったことで、令和元年度対比において約97%まで利用者数が回復したものの、未だに利用者の意識として、プール利用に対するニーズが高まっておらず、目標値に対して未達成となった。

自主事業の参加人数については、令和元年度比において約87%まで回復したものの、目標値に対して未達成となった。プールの利用者数と同様に、繁忙期である7月中旬に実施した教室では、同時期において、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加し、子どもを対象とした教室の申し込みが減少し、定員に達しなかったことが要因の一つと考えている。

なお、自主事業の実施にあたっては、参加者の意見を反映し、子ども向け水泳教室の中級・初級を行う曜日に上級クラスを増設することでスムーズなクラス昇級を図った点や、ニーズの高い幼児向けクラス等の定員を増加し、落選者が出ないよう工夫したことで自主事業収入については、令和元年度と同水準まで回復させることができた。

文化事業については、令和2、3年度と未実施であった「北の丘フェスタ」を実施することができた。6月開催時はプール縁日等を合わせて実施することで、当日のプール利用者数も増加させることができた。

また、12月開催時は、令和3年度の「ウクレレ教室」参加者で発足されたサークル等の発表が行われ、発表者のご家族が来所するなど、施設の賑わいの創出及び魅力向上に繋げるとともに、令和4年度の「ウクレレ教室」、「陶芸教室」の参加者の一部が当該施設で活動するサークルへ加入するなど、今後は、利用者のニーズを良く分析し、魅力的な事業展開を図ることで、成果指標の目標値の達成に繋げていきたい。

## 10 所管課意見

・プール利用者数、自主事業参加者数ともに目標値に届かなかった。コロナ禍による施設利用への心理的抵抗による影響もあると思うが、今後の利用者増加に向けて、利用者ニーズ等を見極めながら、効果的な事業実施をお願いしたい。

・その中で、子ども向け水泳教室では、中級・初級を行う曜日に上級クラスを増設することで、教室参加者のスムーズなクラス昇級や継続的な参加を図っている。また、ニーズの高い幼児向けクラス等については、定員を増加させ落選者が出ないよう工夫するなど、参加者の意見を反映し利用者の増加に向けて工夫して取り組んでおり、評価したい。

・コロナ禍で開催中止としていた北の丘フェスタを3年ぶりに開催し、地域や利用者への還元に努めたほか、ハロウィンイベントやクリスマスイベントなど季節柄を反映したイベントの開催など、施設認知度の向上や賑わいづくりなど、さらなる利用促進に向けて取組を行っている。また、利用者意見を踏まえ飲料や軽食等を販売するカフェスペースを出店させるなど利便性向上にも努めており、評価したい。

・利用者アンケートについても、前年度に引き続き高い満足度を維持しており、利用者に対し適切なサービスが提供されているものと思われる。今後は、自主事業参加者等へのアンケート実施による既存事業へのフィードバックや、WebやSNS等を活用し、施設利用者以外の意見などを幅広く取り入れることで、施設の利用者確保に向けた取組や新規利用者層の開拓など、さらなる施設の活性化に向けて取り組んでもらいたい。

## 11 選考委員会意見

・自主事業を数多く実施することで、プール利用者数の伸び悩みをカバーしている点は評価できる。一方で参加者数が目標値に到達していない事業もあるため、今後は参加によるメリットの強調や「2.5メートル泳げるようになる」といった達成目標を掲げるなど、事業の中身がより利用者に伝わるような取組を行うなど、より一層の努力を期待したい。

・施設の立地特性等を活かし、企業や外国人に対する利用促進など、より多様な市民が利用するような事業の取組に期待したい。企業に対して、従業員の福利厚生や健康増進など様々な効果が期待されることを個別訪問等でアピールするほか、英語版利用案内の作成等を行うことで、潜在しているニーズの掘り起こしにも努めて欲しい。

### 総合評価（自動判定）

**C**

(50/100)

